

# Advancing Sustainable Finance

健全かつ持続的な資本市場への貢献

## 基本的な考え方

野村グループは、お客様のニーズに合わせた商品・サービスの提供を通じて適切な資金循環を促し、経済成長と社会の持続的な発展に貢献することが金融サービス業の社会的役割であると考えています。また、ステークホルダーとの対話を通じ、世界のさまざまな社会・環境課題の解決に貢献する金融サービスを提供しています。

## 金融ビジネスを通じた社会課題の解決に向けて

2017年3月期、野村證券は日本の債券市場において、国際協力機構（JICA）による国内発行体として初のソーシャル・ボンド発行および、野村総合研究所（NRI）による国内事業会社として初のグリーンボンド発行を事務主幹事としてサポートしました。社会に貢献したいという投資家のニーズと、社会的課題の解決を目的としたプロジェクトにおける資金需要との橋渡し役を担うとともに、日本のソーシャルボンド・グリーンボンド市場の発展に向けて今後も貢献していきます。

### ソーシャルボンド「JICA債」

野村證券は、2016年9月にソーシャルボンド「JICA債」の引受・販売を行いました。ソーシャルボンド「JICA債」（発行総額：350億円）は、JICAが発行し、調達資金は新興国や途上国のインフラ整備や気候変動対策等に活用されます。本債券は、グリーンボンド原則が示す、社会課題への対応を目的とした「ソーシャルボンド」の特性に従うものであるとの評価を日本総合研究所より得ています。

国連は、2015年、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）」を決議しました。日本政府が策定する日本のSDGs実施指針ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」の具体的な取り組みのなかに「社会貢献債（JICA債）の発行」が挙げられています。



## グリーンボンド発行 NRIグリーンボンド

ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の広がり背景下、グリーンボンドは、環境問題への対策となる手段の一つとして国際的に注目されています。野村證券は、2016年9月、NRIが発行する国内初の円建てグリーンボンドの商品組成・引受・販売を行いました。本債券の発行によって調達した資金は、環境配慮型のオフィスビルである横浜野村ビルの一部持分

の取得および設備投資に充当されました。本債券は、グリーンボンド原則に沿った認証として、ESG評価会社であるVigeo SAS社が展開するVigeo Eirisからセカンドオピニオンを取得していることに加え、格付投資情報センター（R&I）からR&Iグリーンボンドアセスメントにおいて最上位となるGA1が付与されており、外部から高い評価を受けています。

社会貢献型商品  
<http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/sustainable/products.html>

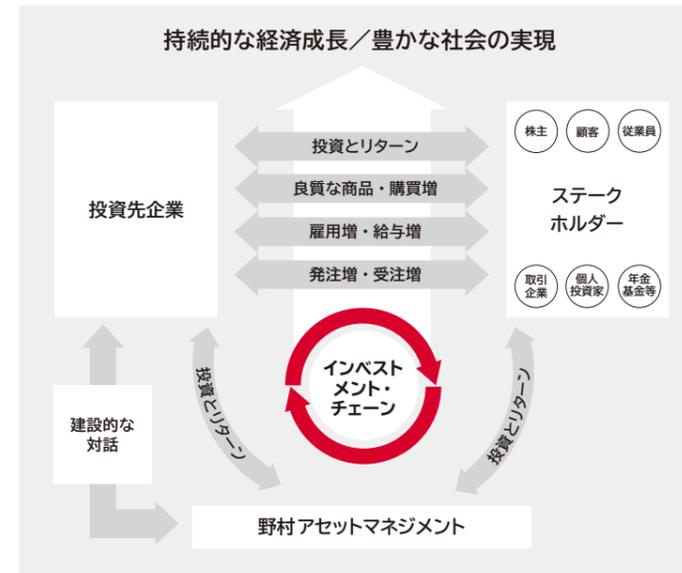
## 責任ある機関投資家として、投資による好循環の実現

2014年に責任ある機関投資家としての原則を定めた「スチュワードシップ・コード」が制定されました。野村アセットマネジメントは投資先企業との建設的な対話や議決権行使を実施しており、これら積極的なスチュワードシップ活動を通じて健全な企業経営を働きかけ、投資リターン

の最大化を図っています。

また、野村アセットマネジメントは本コードの趣旨に賛同するとともに、ESGを考慮した運用を行っています。企業の持続的な成長力を高め、国民の資産形成に貢献することで、未来の成長サイクルを支えてまいります。

### 野村アセットマネジメントが目指す インベストメント・チェーン（投資の連鎖）の実現



責任投資への取り組み  
[http://www.nomura-am.co.jp/corporate/service/responsibility\\_investment/](http://www.nomura-am.co.jp/corporate/service/responsibility_investment/)

## ESGセミナーの開催

投資の際に企業の環境、社会、ガバナンスへの取り組みを評価するESG投資への関心の高まりを受け、野村證券では、機関投資家のお客様向けに、環境、欧州ESG

動向、取締役会評価などをテーマにしたESGセミナーをシリーズで開催しています。2017年3月期は年間300名以上の方に参加いただきました。